



イノウエは1960

年設立のステンレス、特殊金属流通大手。25日の定時株主総会後の取締役会で

第4代社長に就任し

イノウエ 井上 浩樹氏

顧客ニーズに密着

同社の設立は国内スズに因應するために耐熱ステンレス業界が薄板量耐食合金、バルブ、シエン化の波に乗り始めたリコウエハー、極低時代。商社勤務が長か温環境用断熱材など扱った祖父、故井上壮吉い品を拡大することも氏が日立製作所との取引に、社名をイノウエに引に長年携わった縁変更した。

で、後に日立製作所副父の井上浩良会長の社長となった故川田史社長時代、20年以上前

アップ向け以外の顧客拡大も目標に掲げ、売上げ、人員規模はほぼ倍増している。

現在の重点方針では、厚板など生産財中心の営業第1部は協力会社のネットワークを活用した『加工品による差別化』、薄板など消費財中心の営業第2部は家電関連など継続品ビジネスで培った『ノウハウを別フィールドに拡販を掲げる。』(谷山 恵三)

女性社員が活躍しやすい社風も堅持する。人柄はまさに好漢。慶応高からアメフトを始め、慶大、リクルート(現オービックシーガルズ)でもQBとして活躍し、オールジャパンや日本一も経験した。現役引退後は慶応高監督や慶大助監督を務め「勉強にも糧にもなった」。今年からチームを離れ、「今は仕事に集中する」と。たまの休日は久しぶりに家族とゆっくり過ごしている時間を大切にしている。(谷山 恵三)

新社長

た。「エネルギー・家電・自動車・車両・航空機・半導体関連など社会貢献に直結する仕事ができることに社員はやりがいを感じている。小さい会社だが個性的な社員の個を生かすつつ横串を通して力を結集し、今よりもっと面白い会社になりたい」と前を見据えている。

「お客様ニーズにお応えして、情報収集力以来、重電関連のスピードで『使いテンレス厚板、家電関連のステンレス薄板をを目指す』理念を貫き、中心に日立グループとともに歩み、その一歩一歩から日立グループ

略 歴

井上 浩樹氏(いのうえひろき) 1999年(平11)慶大商卒、リクルート入社。2003年イノウエ入社、06年営業部第一営業グループ・貿易グループ主任、09年同担当課長、12年営業部第二営業グループ部長、15年常務、17年5月社長。76年(昭和51)10月生まれ、東京都出身。

